
【上海レポート20220418】

大阪産業局上海代表処/大阪府上海事務所 所長 南浦秀史

【上海市における封鎖状況6】

封鎖が続く上海市では、日本商工クラブが役員企業約50社を対象に緊急アンケートを行い、その結果をとりまとめて、4月15日、上海市人民政府宗明副市長あて提出しました。提出にあたっては、在上海日本総領事館赤松大使から副市長あての手紙を添えています。この手紙が現地でも広まっており、中国東北地方在住の友人から読んだと連絡がありました。アンケートでは事業面と生活面での具体的な困難について、日系企業の声を集めたところ、両面において切実であることが明らかになりました。商工クラブは、上海市政府の感染封じ込めへの奮闘に大いに敬意を表すとともに、中国経済の発展に寄与する日系企業が、一日も早く従来のように事業活動ができるよう、予見可能な政策の遂行と安心できる生活への配慮を上海市政府にお願いしています。詳細は上海日本商工クラブのホームページで公開されていますので、ぜひご覧ください。 <https://www.jpccic-sh.org/news/article/newsid/3375>

4月18日現在、封鎖をとりまく環境に大きな変化はありません。私の住む団地は、4月1日の封鎖以降感染者がいないので、防範区に指定され、団地の外にも自由に出ることができますが、商店やスーパー、コンビニなどが一切営業していないのと、100メートルほど離れたところにあるマンション2か所で新規感染者が出ており、万が一のことがあると、再度、団地全体が14日間の封鎖になるので、怖くて外に出る気がしません。その代わりに団地内での集団購買が非常に盛んです。近所の中華系スーパーが集団購買向け野菜セットを提供し始めました。他には、崇明島の産直野菜、米、コカ・コーラ、ミネラルウォーター、調味料セット、冷凍食品セット、中華粽や鶏の蒸し焼き、コーヒーやケーキ等も登場しています。値段は安くもなく高くもなくです。市場監督局が目を光らせており、おかしい値段設定はできません。流通に携わる人が少ないので、一つひとつ購入したいものを選べるわけではなく、一塊のセットのみで販売されています。量が少し多く、独り者にはちよつと持て余し気味ですが、片っ端から冷凍しており、当面のあいだ食料は問題なさそうです。

過去の「上海レポート」、「中国(上海)ビジネスサポート」
https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas_shanghai.html

発行・問合せ：(公財)大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)
URL: <http://osaka-sh.com.cn/> E-mail: osaka@ibo-sh.com